

支えあう地域づくり一宮

数字から見えてくる



約10年でどう変わってきたのかな？

年月	地区名	年齢構造	年少人口			生産年齢人口		高齢人口	
		年齢層	0～14歳			15～64歳		65～ (高齢者人口)	
		人口 (人)	人口 (人)	人口割合	人口 (人)	人口割合	人口 (人)	高齢化率	
2012年4月	笛吹市	71,171	9,859	13.85%	43,845	61.60%	17,467	24.54%	
	一宮町	10,965	1,473	13.43%	6,670	60.83%	2,822	25.74%	
2021年4月	笛吹市	67,117	7,847	11.69%	38,595	57.50%	20,675	30.80%	
	一宮町	10,023	1,160	11.57%	5,643	56.30%	3,220	32.13%	

一宮町の年齢3区分別人口構成では、2021年4月は年少人口（0～14歳）が11.57%、生産年齢人口（15～64歳）が56.30%、高齢者人口（65歳～）が32.13%と約3人に1人が高齢者となっています。笛吹市全体よりも高齢化率が高い傾向にあります。

少子高齢化や核家族化が急速に進み、個々の価値観やライフスタイルが多様化し、住民がともに支え合い、助け合うという社会のつながりが求められています。



困りごとについての調査

令和3年1月に協議体委員と民生児童委員の皆様にご協力いただき、活動を

困りごとの上位は	
1位	ゴミ出し
2位	移動手段
3位	除草・庭木の伐採

資源ゴミや粗大ゴミだけでなく、可燃ゴミも出すことに困っている高齢者がいる。一方、地域で助け合っている所もある。

移動手段がないために、集会場など目的地まで行けない。買い物や通院で不便を感じ

庭の草取り、植木の手入れが加齢とともにできなくなり、困っている。畑の手入れも

数字から見ると、高齢者が増えていくことにより、困りごとが生じるひとり暮らし高齢者も増えていくことが予測されます。

これからは地域全体で高齢者の生活を支えられるよう、支え合いや助け合いの地域づくりを進めることが大切です。ちょっとした助け合いが、高齢者の生活を支えていくことにつながります。





一宮町のお宝活動紹介



お宝とは

地域にある支えあい活動や、居場所、活動する人や場所など

一宮町グラウンド・ゴルフ部



毎週火曜日と金曜日の午後1時から3時まで、桃の里スポーツ公園グラウンドにて活動しています。現在の部の登録者は64名です。ボールとクラブは持参しています。

ホールインワンをした時には、1回につき100円を部に寄付します。その額は1年間で10万円にも上り、部の活動費に充てられています。

週1回以上の社会参加は、健康寿命を延ばすだけでなく、お互いの顔の見える関係が続くことから、地域づくりにも繋がっていきます。

支えあう地域づくり一宮（生活支援体制整備事業・第2層協議体）は平成31年3月に発足されました。現在は新型コロナウイルスの影響で十分な活動ができておりませんが、これまでに次のようなことを行ってきました。

- ・令和元年度 一宮町のお宝（社会資源）リスト作成・マップ作成・広報誌発行。
- ・令和2年度 協議体委員と民生児童委員に高齢者の困りごとについて調査。広報誌発行。
- ・令和3年度 調査結果をもとに、住民同士でできることについて全体会議にて検討。広報誌発行。

住み慣れた地域で安心して生活しつづけるために、支え合いの地域づくりの実現を目指し、これからも一宮町が暮らしやすい地域となるように活動を続けていきます。



みなさんの声をお聞かせください

問い合わせ先

支えあう地域づくり一宮

一宮町第2層生活支援コーディネーター

「こんな活動始めたい」「こんなことに困っている」など、ご相談ください。

電話0553-47-2288

笛吹市社会福祉協議会

一宮地域事務所内

